

「遺伝子・染色体構築セミナー」を開催

2016年12月16日

12月16日（金）に、がん進展制御研究所4階会議室において、アメリカ・ダナ・ファーバー癌研究所 研究員である星居 孝之先生を招いて、遺伝子・染色体構築セミナーを開催しました。

セミナーでは「New Way to Relieve Replication Stress Through Epigenetic Enzyme Complex」という演題で、shRNA/sgRNA を利用した新たな機能解析から見出した、ヒストン修飾因子の新たな機能についての紹介とニューヨークとボストンでの経験を踏まえ留学体験について講演していただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約35名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



New Way to Relieve Replication Stress Through Epigenetic Enzyme Complex

Takayuki Hoshii, Ph.D.

**Scientist I, Department of Pediatric Oncology
Dana-Farber Cancer Institute, USA**

近年、エピジェネティクス制御因子を標的とした薬剤が盛んに開発され、抗がん剤としても注目されています。星居孝之博士は、遺伝子・染色体構築研究分野の後、米国 **Scott Armsrong** 研究室 (メモリアルスローンケタリングがん研究所, ダナファーバーがん研究所) において、急性骨髄性白血病の細胞・マウスモデルをベースに、エピジェネティクス制御因子の機能解析と新たな治療標的の同定を目的に研究を行っています。今回は、shRNA/sgRNAを利用した機能解析から見出した、ヒストン修飾因子の新たな機能について紹介していただきます。ニューヨークとボストンでの経験を踏まえ、留学体験についてもお話しいただくことになっています。奮ってご参加ください。

【日時】平成28年12月16日(金) 17:00～18:30

【場所】がん進展制御研究所 4F 会議室

連絡先: 平尾 敦

(がん進展制御研究所 遺伝子・染色体研究分野 (内線6756))